



# 子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」  
フラグシップ園会報  
(2014年7月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264  
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も猛暑の季節となりました。  
体調管理に十分ご留意願います。  
厳しい季節の中、東北のどんぐりは元気です。

## (目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ」のテーマソングが仕上がりました。
2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
  - どんぐり博士の育苗講座 2014～基本編①～

### ■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どものために「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

### ■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会  
(順不同) (社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾  
(社)日本森林インストラクター協会 NPO法人自然体験活動推進協議会  
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会  
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部 保育環境研究所ギビングツリー



## 1.「東北復興グリーンウェイブ」のテーマソングが仕上がりました。

「東北復興グリーンウェイブ」のテーマソング『どんぐりえがお』のレコーディングが行われ、作品が完成しました。作詞は山田町の男性保育士グループ「男心会」、作曲は今注目のアーティスト佐久間順平さんです。歌っているのは「どんぐりーず」(注)のお二人です。“東北の子どもたちと全国の子どもたちがどんぐりの絆で結ばれ、笑顔が広がって行く”という活動の願いが込められたとても素晴らしい歌に仕上がりました。事務局ではこの作品を「東北復興グリーンウェイブ」の普及活動に積極的に活用していきます。それに先立ち、まずはフラグシップ園の皆様にお届けしたいと思いホームページにアップしました。保育活動にご活用いただけると幸いです。⇒<http://kodomonon-mori.net/>

子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」テーマソング

### どんぐりえがお

作詞: 男心会 作曲・編曲: 佐久間順平

1. 森でどんぐり みつけたよ みんなでいっぱい拾ったね  
遠くの仲間とわけあって いっしょに すくすくそだてよう  
あの子のところへ ぼくのえがお この子のところへ きみのえがお  
やさしい心が みんなに届く やさしい気持ちが 力になる  
「大きくなーれ！大きくなーれ！大きく 大きく 大きくなーれ！」

2. かわいい どんぐり届いたよ 毎日水やり楽しいな  
はやく大きく育ててね みどりのふるさと待っている  
あの子のところへ ぼくの笑顔 この子のところへ きみの笑顔  
えがおと心が みんなに届く えがおの絆が 力になる  
「大きくなーれ！大きくなーれ！大きく 大きく 大きくなーれ！」

3. 仲間と一緒に帰ったよ みんなで森を作ろうね  
ぼくらはそうさ一人じゃない どんぐりの輪を広げよう  
あの子のところへ ぼくのえがお この子のところへ きみのえがお  
緑の心が みんなに届く 緑の絆が 力になる  
「大きくなーれ！大きくなーれ！大きく 大きく 大きくなーれ！」



『どんぐりえがお』は5/22の植樹会会場にて山田町の保育園園児にお披露目されました。



「どんぐりえがお」レコーディング風景



\*注:「どんぐりーず」

「子どもの森づくり運動」の活動にご共感いただき、新たにサポート団体としてご参加いただいた「劇団スーパー・エキセントリック・シアター(SET)」の劇団員、長谷川 恵美(はせがわ えみ)さんと安田 裕(やすだ ひろし)さんによるパフォーマンスユニット。今後、歌とダンスによる様々なコラボレーション普及活動が予定されています。

## 2.「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

5月22日グリーンウェイブの日に開催された「東北復興グリーンウェイブ」の植樹会には、全国の参加園から東北の苗木が届けられました。そんな参加園の「苗木を見送る活動」を順番にご紹介します。

●実施園：滋賀県「崇徳保育園」 □日時：2014年5月15日（木） □会場：自園 □日本郵政：豊郷郵便局 北澤局長



当日は、まず津波被害のとても大きかった東北地方沿岸部の様子や「東北復興グリーンウェイブ」の意義等をスライドで園児に説明しました。その後、みんなで手をつないで苗木を取り囲み「どんぐりころころ」の歌を幻の3番まで歌った後、代表園児から苗木を局長さんに手渡しして、「東北までどうぞよろしく願います！」とご挨拶をしました。

北澤局長さんからは、大切な苗木を郵便局のネットワークでしっかりと東北に届けますということや、この苗木のことを20年・30年先もずっと忘れないでくださいね。というお話がありました。



苗木は「どんぐりの絆BOX」へ大事に収納し、いよいよ郵便車の見送りです

「ばいばい」「元気でね」「よろしくね」という声と共に、「ちょっとさびしくなったなあ」というつぶやきも聞かれ、園児にとっては親しい人の見送りと一緒にであることを実感してくれたようで、ジーンとくるものがありました。

by: 谷口園長



### 3. 事務局からのお知らせ

子どもたちに活動における大切なことを伝えるためには、折に触れて子どもたちが苗木とふれ合える機会を与えてやっていただければと思います。下記の活動をおすすめします。

#### 1) 苗木をお披露目する活動

地元で子どもたちが拾ったどんぐりや、昨年秋に東北から届けられたどんぐりが芽生えてくれました。そんな季節ならではの活動として「苗木のお披露目会」の実施をお奨めします。活動を通じて、子どもたちと共に生命の芽生えを祝い、あらためてみんなで苗木を大切に育てていこうという気持ちを共有しましょう。



#### 2) 植えた苗木の成長を見に行く活動

苗木は、活動に携わった子どもたちの“大きなあ〜れ！”という願い、そしてそんな子どもたちを見守る保護者や幼稚園・保育園の先生たちの『子どもたちと共に健やかに育て』の願いを込めて植えられ、見守られてまいりました。だから植樹した苗木の成長は、それぞれの実施園における「子どもの森づくり運動」の活動の成果であり、子どもたちの“育ち”のスケールです。そんな苗木を見に行き、その成長をみんなで確認しましょう。



#### 3) 苗木を見守る活動「夏草刈り」のご提案

夏本番を迎え、苗木たちも子どもたちと一緒に元気に育つ季節です。同時に、苗木が植えられたフィールドの夏草も大きく育ち、まだ幼い苗木たちを覆い隠してしまいます。苗木を見守る活動として、有志を募り、夏草刈りを実施しましょう。その際、せっかく育った苗木と一緒に刈らないよう、十分に注意して下さい。



少々遅れ気味でしたが、この通信がみなさんに届く頃には、全国で梅雨が明けている事と思います。本講座ではこのように、時候や天候についても触れてきました。基本編を締めくくるに当たり、天候等の話題を意識的に取り入れてきた理由について記します。

どんぐり博士：河内和男（森林インストラクター）



梅雨が明け真夏を迎えました。みなさんの地域では今年の梅雨はどんな感じでしたか？ 南と北、東と西で事情は異なりますが、いわゆる平年通りの梅雨だった場所は少なかったと思われます。また残念なことに、今年も人的被害や東京三鷹での降雹のような信じられない異常気象が繰り返されてしまいました。

梅雨から夏にかけては、植物が最も豊に生長する時期ですが、天候の極端化と不安定化で、植物育成の管理が難しくなっています。さらに、地域による天候の差が大きくなることも多く、このような講座で全国一律に情報を発信することの難しさも感じています。実は、私がこの活動を始めた初期に、全国に同じように情報発信したため、ある地域の園には悲しい思いをさせたしまった苦い思い出もあります。

そんなわけで、この講座では、樹木の苗を育てる場合の配慮事項を中心に記しましたが、苗が生長するのは、人間の世話によってではなく、太陽の光や温度と雨という自然からの恵みと自らの力によるものです。ですから日々の天候や周囲の自然環境と苗の生長との関わりに、少しでも目を向けてもらえたらと、折々に季節や天候の記載をしてきました。

どんぐりの苗に限らず植物の育成には、最低限の基本を頭に入れたら、日々の天候と植物の状態から、植物に必要なことを補う事ができるようになることが肝心です。是非植物の育成を通して自然に対する感覚を磨き、さらにこのような時代ですから、災害に繋がるような自然現象に対しても、意識や感覚を広げてもらえれば幸いと考えています。